Technical Data Sheet

2006/04/27
(Rev. 2009/02/11)

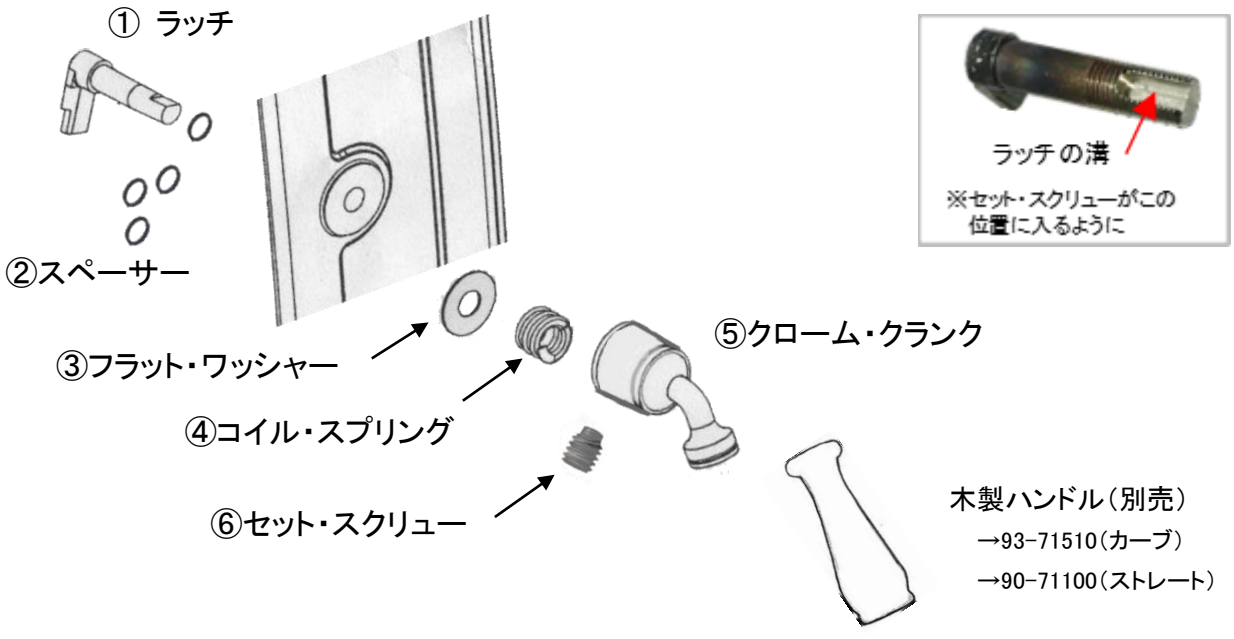
93-73701　Shelburne 8370/8371　フロントドアラッチキット

作業に必要なもの（ご用意ください）　5/32”　六角レンチ、マイナスドライバー、プラスドライバー

キットに含まれるもの

			数量				数量
①	5370-082	ラッチ	1	⑤	5010-081	クローム・クランク	1
②	4700-0790	スペーサー（真ちゅう）	4	⑥	4500-2976	セット・スクリュー	1
③	5021-032	フラット・ワッシャー（黒）	1	⑦	5370-070	ラッチ・キャッチ	1
④	5240-138	コイル・スプリング	1	⑧	4700-0810	キャッチ用スペーサー	1





Technical Data Sheet

2006/04/27
(Rev. 2009/02/11)

93-73701　Shelburne 8370/8371　フロントドアラッチキット

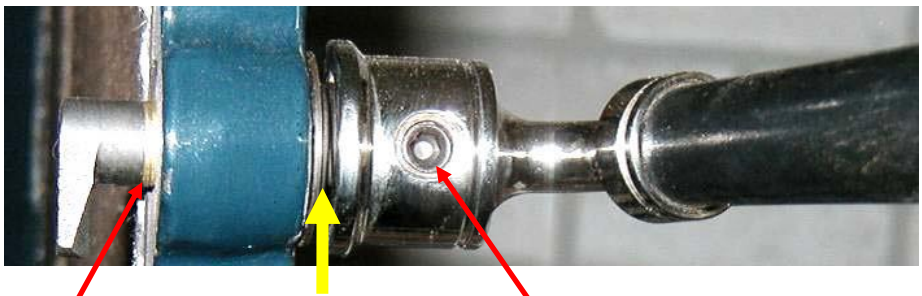
始める前に　　必ずストーブが冷めた状態で作業してください。

ドアを本体から外して作業する場合には、平らな面に置いて作業してください。ドアは、開けた状態でまっすぐ上に持ち上げると外れます。ドアを外す際には、ドアピンとワッシャーをなくさないようにご注意ください。

1. マイナスドライバーで、木製ハンドルを外します。再度使用しますので、なくさないでください。
2. クローム・クランクのセットスクリュー（⑥）を5/32” 六角レンチで外し、ラッチを片方の手で持ちながらクローム・クランク（⑤）を反時計回りに回して外し、古いラッチ（①）を廃棄します。
3. 新しいラッチ（①）にスペーサー（②）を2つ付けてドアの内側からドアに通します。
4. フラット・ワッシャー（③）、コイル・スプリング（④）の順に、ドアの外側からラッチに通します。
5. クローム・クランク（⑤）を取り付けます。ラッチにはネジ山がありますので、ラッチを片方の手で動かないように持ちながら、クローム・クランクをくるくると時計回りに回して取り付けます。ドアとクローム・クランクの間が3ミリほどになるまで回してください。（クローム・クランクとドアの間にスペースがないとコイル・スプリングが機能せず、ラッチの摩耗を早める原因となります）
6. クローム・クランクの側面にあるセット・スクリュー用の穴と、ラッチの平らな面を合わせたら、5/32” 六角レンチを使用してセット・スクリュー（⑥）で固定します。セット・スクリューがラッチの平らな面にしっかりと収まっていることを確認してください。
7. 1.で外した木製ハンドルを元通りに取り付けます。
8. ドアを外して作業を行った場合は、ドアをストーブに戻します。元あったワッシャーも忘れずに取り付けてください。
9. ストーブ本体側のラッチ・キャッチ（ラッチが引っかかるプレート）がビスで2か所固定されていますので、プラスドライバーで外します。ビスは再利用しますので、なくさないでください。
10. 新しいラッチ・キャッチ（⑦）を取り付けます。新しいキャッチの上部の穴の裏にキャッチ用スペーサー（⑧）をセットしてから取り付けてください。

<u>ラッチの調整</u>

スペーサー（②）の使用枚数で調整してください。
きつ過ぎる場合には、ラッチからクローム・クランクを一度外し、スペーサー（②）をもう1枚追加します。反対に緩すぎる場合には、ラッチからスペーサー（②）を取り除いてください。



②スペーサー　　3ミリほどの隙間　　⑥セット・スクリュー

※写真はシェルバーンではありません